



平成29年度前期『学校評価アンケート』ご協力ありがとうございました。 学校評価の結果を報告いたします。



「学校教育評価アンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。

本年度も、子どもたちのよりよい成長を実現するため、本校教育活動について第1回目の学校評価アンケートを実施させていただきました。集計は、「京都市学校評価システム」を活用し、児童、保護者、教職員へのアンケート11項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせ〈実現度〉として示させていただきます。



社会情勢や子どもを取りまく環境が、多様化・複雑化してきている現代における状況を鑑み、昨年度までの取組や学校評価の結果より、今年度の「学校教育目標・経営方針」(詳しくはHPをご覧ください)を検討・再考し、子どもたちのより実質的な成長につながる教育活動へと取り組んでいます。そのため、今年度の学校評価の項目も、教育活動や取組に併せて検討し昨年度までの項目を変更しています。

学校評価の結果の検証をし、教職員全員が教育活動その他の学校運営の成果や課題を共有し、学校組織の活性化を図りながら協力して教育活動の継続的な改善に取り組んでいきます。そして、本校の教育活動をより充実したものとしていくために、学校とご家庭・地域が意識を共有する機会の一つとするため、このように結果を報告させていただきます。

保護者・地域の皆様より、さらに教育活動その他の学校運営に対する理解と参画を得て、信頼される学校づくりを一層進め、北醍醐の子どもたち一人一人が安心してさらなる成長や自己実現をしていけるよう、継続的な改善に努めていきます。

また、学校評価のまとめにつきましては、後日、学校運営協議会の皆様にもご意見やご助言をいただき、これからのよりよい教育活動の推進に活かしてまいります。

今後の教育の充実にむけ、保護者・地域の皆様には、さらなるご理解とご協力をよろしく願います。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で

『子どもを共に育む京都市民憲章』を实践しましょう!



学校生活全体に関わるご意見・お考え

環境面で

学校設備や環境についてのご意見をいただきました。雨漏りについては、現時点で修理修繕を済ませております。

安全対策面では日常の点検が更に確実なものとなるよう努めてまいります。また、学習環境面では基準値などを参考に学びやすい環境づくりに努めてまいります。



学校行事等で

学校行事や部活動、PTA行事についてご意見をいただきました。可能な範囲で、十分に検討してまいります。



その他にも、日常の学習指導や生活指導について、ご感想やご意見、お褒めの言葉をいただいております。

お聞かせいただきましたお声を教育活動に反映させていこうと考えております。

なお、個別のご要望やお困りが有る場合は、ご遠慮なくご相談いただければ幸いです。存じますのでよろしくお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

項目	児童	保護者	教職員
1 お子さんは、安心して楽しく学校に行っている。	92.0%	96.7%	100.0%
2 お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	94.2%	89.8%	83.3%
3 お子さんは、家や地域で進んであいさつしたり、学校で取り組んでいる掃除について話したりしている。	93.1%	68.8%	91.7%
4 学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じられる。	74.8%	66.4%	81.8%
5 お子さんは、自分から考えを、ノートに書いたり発表したりし、授業が楽しいと言っている。	80.5%	65.1%	72.7%
6 お子さんは、自分から読書したり本を使って調べたりしている。	78.1%	70.9%	72.7%
7 お子さんは、「15分×学年」の家庭学習(宿題)の習慣が身についている。	86.2%	71.0%	72.7%
8 お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。	92.4%	94.1%	83.3%
9 お子さんは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔・歯みがきをし、朝ごはんを食べるなど基本的な生活習慣が身についている。	85.9%	83.5%	100.0%
10 学校は、安全面における適切な配慮をしている。	96.3%	90.8%	90.9%
11 上級学年への期待や希望を描いたり話したりすることがある。	87.3%	60.6%	63.6%

『今後も伸ばしていきたいこと』

- * 安心して楽しく学校に行っている。
- * 学校は安全面に適切な配慮をしている。
- 自分から読書したり本を使って調べたりしている。

『さらに取り組むべき課題』

学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じられる。

- * 自分から考えをノートに書いたり発表したりし、授業が楽しいと言っている。
- * 「15分×学年」の家庭学習の習慣が身についている。

やさしく【豊かな心】

1. 安心して楽しく学校に行っている。
 学校を楽しんでいると感じている児童は、90%を超え、良好な学校生活を送れていることがわかります。しかし、8%の児童が「楽しい」とは思っていない状況にあります。
 子どもたち一人一人が「安心して楽しく学校に来る」と思えることは、教育活動の根幹であると考えます。「安心して楽しく学校に来る」と思っていない回答をした児童に確実に目を向け、楽しいと思えない理由を明らかにし、安心して楽しいと思えるよう担任を中心に学校体制として支援していくよう改善を図ります。



2. 友だちにやさしく互いに気もちよく関わり仲よく学校生活を送っている。
 児童は昨年度末より3.5%増え、数値的に相手意識が育っていると判断できます。しかし保護者は10%弱、教職員は5%程の割合低下が見られました。子どもたちの生活の基盤は学級であり、居心地よく感じ、友だちと気持ちよく関わり合えることがとても重要です。「学校教育目標・経営方針」(HPを参照下さい)の「ことばづかい」と「～さんづけ」の大切さを児童には、十分に意識させ、道徳の授業で、日常生活の様々な場面で、相手を意識した言動や思いやりの心がもてるように指導・支援していきます。そして、すべての児童が居心地がよいと言える学級づくりをめざして努力を重ねていくことが、保護者や地域の皆様に安心していただけることと考えています。

3. 家や地域で進んで挨拶したり、学校で取り組んでいる掃除について話したりしている。
 今年度より「あいさつ」に「掃除」を加えて尋ね、全校での取組、そして「役目や責任を果たす」「互いに大切に尊重する」意識の高揚について検証しています。「掃除」が加わったにも関わらず、前回より児童は数%ながら増え全校で取り組んでいる意識が持っていると実感します。しかし、「全員が」ではなく、2～3人のあいさつが、その集団(例えば登校班や教室など)全体を代表している場合も少なくありません。その様な状況より保護者割合が10%減少したのではないかと考えます。児童が「あいさつ」も「掃除」も、どんな時も当たり前「自分から」行動する学校風土に教職員の行動化から取り組みます。



4. 学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じられる。
 児童は前回より3%弱、保護者割合は12%程減少し、全校児童の4分の1の子どもたちや3割弱の保護者の皆様に安心を感じていただきにくい、寄り添っていない状況だと、今回最も厳しく、重要課題として受け止めています。
 「あたたかい学校」、これが小規模を活かした本校の強みであり学校づくりの基盤です。項目2と同様に「学校教育目標・経営方針」で示す「積極的な情報発信と説明責任を果たす」意識を強く持ち、学校として全教職員が情報を共有し、子どもたちとあたたかく関わり、指導・支援し、寄り添うことに真摯に取り組むたいと思います。また、ご家庭には、迅速で的確な連絡や丁寧な説明、タイムリーな情報交換をより積極的にいき、子どもを第一に考えた学校とご家庭の丁寧な連携を心がけ、改めて信頼される学校づくりに努めていきます。

かしこく【確かな学力】

5. 自分から考えをノートに書いたり発表したりし、授業が楽しいと言っている。
 昨年度は児童に「授業で話をしっかり聞き自分から発表したりやるべきことを進めたりしていますか」と尋ね、84.4%でした。本年度は「自ら・共に学ぶ」ことに取り組んでいるので「自分から発表する、友だちの意見を聞いて考える、自分の考えをノートに書くことをしている。」と項目を変更し、80.5%でした。数値的には昨年度より不十分という状況です。しかし、児童は「主体的に学ぶ、実感を8割が持っている事は「わかる喜び学ぶ楽しさ」につながる手ごたえがある結果と捉えます。教員は児童が関わり合い、個々の児童が力を発揮する学習活動を心がけているものの、まだまだ授業改善に努力していく必要があると考えています。そして2割程の児童が「できていない」と回答していること及び6割強しかご家庭に伝わっていない状況は重大な課題と考えます。早急に児童が不十分とする点を確かめ検証し、どの児童も学習活動で安心して活動し、個々の児童が力を発揮する喜びを実感できる学習活動の改善に取り組み、児童を通してその成果がご家庭に伝わることに努めていきます。

6. 自分から読書したり本を使って調べたりしている。
 本項目も「主体的な学び」を目指した取組から、昨年度までの「自分から家で本を読んでいる。」より、児童には「学校や家で、自分から読書したり本を使って調べたりしている。」という問いに変更したところ、78.1%の結果となり、昨年度末より10%程向上しました。また児童のみならず保護者・教職員3者の割合が向上し、保護者結果は前回より20%弱の割合が向上しました。本項目は継続的な課題であったため、本年度は改めて「家庭学習に読書や本を使った活動を取り入れる。」ことと「読書時間の確保及び図書資料を活用した学習活動」に全学年で取り組んだことが起因したのではないかと考えます。
 子うま文庫の皆様に行っていたら読みたいという読み聞かせではどの学年の児童も没頭し、活動の合間に本を開き読みふけるほど「本が大好き」な子どもたちです。忙しい学校生活・家庭生活であるが、学校司書(木・金曜日来校)とさらに連携し、もっと本を借りに行く機会や読書と図書活用の時間を設定する、新しい本やお勧めの本の紹介を工夫するなど、より授業と連動した読書活動に取り組み、同時にご家庭への発信も増やしていきたいと考えています。

7. 「15分×学年」の家庭学習(宿題)の習慣が身についている。
 自主性も大人になっていく上で重要な課題であり、この項目も継続的な懸案事項のため、項目6と共に、全学年で家庭学習の内容や取組方を再検討し、全校で取り組んでいます。児童の86.2%が「家庭学習をしている」と回答し、10%強昨年度より児童の意識が向上しました。しかし14%程の児童が行っていないと感じています。また保護者割合では2%程の減少が見られました。この点にしっかり目を向け、学習意欲を引き出し、自主性を育てるための方策をしっかりと考え、実践していかなくてはならないと考えます。できたら終わりといった宿題から、自分の見通しや計画を持って学習する家庭学習(自主勉強)になるよう、取り組んだことを授業で活かす、行った家庭学習ノートを保管・活用するなど、さらに児童自ら臨む家庭学習に取り組みます。

たくましく【健やかな体】

8. 学校のきまりや安全のルールを意識し守っている。
 前回より、3者とも向上し、児童・保護者の割合は9割を超える結果となりました。保護者は、94%以上がきまりを守れているとしており、子どもたちを信頼した数字となっていることを、今後も大事にしていきたいと思ひます。複雑化、多様化する社会を生きていく子どもたちにとって、規範意識を育むこと、自分で正しい判断をする力を高めることは学校教育の重要課題でもあるので、道徳学習を核に児童の意識の向上に努め、さらに行動化へと導けるよう取り組んでいきます。

9. 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨き朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身についている。
 3者とも8割を超えているものの、課題として捉えています。本項目は、子どもたちが健やかに安全に学校生活を送り、個々が持つよさや可能性を存分に発揮し、さらに力を高めるための大事な基底です。体育や保健学習、道徳を主に自ら自分の命や体を大切にすることを理解・意識できるよう、さらに取り組みたいと思ひます。



また、基本的な生活習慣の柱である「早寝・早起き、洗顔・歯みがき、朝ごはん・排便」について、年2回の生活点検だけでなく、日々の健康観察を主に指導や、声かけをさらに進めながら、子どもたち個々の生活リズムを把握し、ご家庭とより連携を強め、児童自らが健やかな健康と生活に取り組んでいけるよう努めていきます。

10. 学校は安全面における適切な配慮をしている。
 今回も、3者とも9割を超える結果となり、「良好な状況」と考えられます。特に、児童は「安全に気をつけて安心して活動できている」という質問項目に対し、前回の95%より、さらに向上したことは、児童の安全意識が向上している嬉しい結果として捉えています。項目8と併せ、今年度は、「自ら考え判断し、適切に行動する力の育成」に重点的に取り組んでいます。
 しかし、学校の設備面などへのご意見もお聞かせいただいています。意識は、環境から育まれる影響をさらに重要視し、今後も子どもたちが安心して活動し生活する学校づくりを進めていきたいと思ひます。